	‘011’		256QAM	2　025
	‘100’		1024QAM	1　620
	‘101’		4096QAM	1　350
	‘110’		予約済み	1　158
	‘111’		予約済み	1　013
‘1’	‘000’	64K LDPC	予約済み	900
	‘001’		16QAM	16　200
	‘010’		64QAM	10　800
	‘011’		256QAM	8　100
	‘100’		1024QAM	6　480
	‘101’		4096QAM	5　400
	‘110’		予約済み	4　629
	‘111’		予約済み	4　050

30　PLP_MODは、データスライスタイプ１が使用されている場合にのみ、注29の表のとおり、ＰＬＰで使用される変調を示すものとし、ＰＬＰごとに設定される。

31　PLP_CODは、データスライスタイプ１が使用されている場合にのみ、次表のとおり、ＰＬＰで使用される符号化率を示すものとし、ＰＬＰごとに設定される。

PLP_COD	符号化率
‘000’	将来使用のためのリザーブ
‘001’	２／３
‘010’	３／４
‘011’	４／５
‘100’	５／６
‘101’	８／９（16K LDPC） ９／10（64K LDPC）
‘110’～‘111’	将来使用のためのリザーブ

32　PSI/SI_REPROCESSINGは、PSI/SI再処理が実行されるかを示すものとし、ＰＬＰごとに設定される。PSI/SI再処理が実行される場合は‘１’、実行されない場合は‘０’に設定される。

33　transport_stream_idは、PSI/SI_REPROCESSINGが‘０’の場合にのみ、ＴＳを示すために、ＰＬＰごとに設定される。

34　original_network_idは、PSI/SI_REPROCESSINGが‘０’の場合にのみ、元となる配信システムのnetwork_idを示すために、ＰＬＰごとに設定される。

35　RESERVED_1は、ＰＬＰごとに設定された将来使用のためのリザーブとする。

36　RESERVED_2は、データスライスごとに設定された将来使用のためのリザーブとする。

37　NOTCH_STARTは、ノッチ帯域の開始位置を、START_FREQUENCYとの相対値として整数値で表すものとし、ノッチ帯域ごとに設定される。

38　NOTCH_WIDTHは、ノッチ帯域の幅を、副搬送波の周波数間隔の整数倍で示すものとし、ノッチ帯域ごとに設定される。

39　RESERVED_3は、ノッチ帯域ごとに設定された将来使用のためリザーブとする。

40　RESERVED_TONEは、リザーブされた副搬送波の存在を示すものとする。リザーブされた副搬送波が存在する場合は‘１’、存在しない場合は‘０’とする。

41　EMERGENCY_INDICATORは、緊急警報指示の有無を示すものとする。起動制御が行われている場合は‘１’、行われていない場合は‘０’とする。なお、ペイロードタイプの種別に応じて204ビットの地震動警報情報を伝送することとし、その構成に関しては、標準テレビジョン放送等のうちデジタル放送に関する送信の標準方式（平成二十三年総務省令第八十七号）第二十二条第二項に規定する地震動警報情報を伝送するためのＡＣ信号の構成と同様のものとする。地震動警報情報は、ペイロードタイプがＴＳの場合には伝送制御信号ＮＩＴ（Network information table）の第二ループで使用する別記第３のデータ構造である記述子C2_delivery_system_descriptorを用いて送信することとし、ペイロードタイプがＧＳＥの場合には緊急警報信号を格納可能なプロトコルタイプC2_Emergency_Informationの別記第４のデータ構造であるＧＳＥパケットとして送信することとする。

42　RESERVED_4は、Ｌ１シグナリングパート２データのシグナリング領域に設定された将来使用のためリザーブとする。

別記第３　地震動警報情報伝送時の記述子のデータ構造

シンタックス	ビット数	備考
C2_delivery_system_descriptor {		
descriptor_tag	8	0xF4
descriptor_length	8	—
descriptor_tag_extension	8	0x01
Earthquake_Warning_Information	204	—
Reserved_for_future_use	500	—
}		

注１　単位の指定のない数字は、その領域のビット数を示す。

２　「0x」に続く数字を16進数とする。

３　‘　’で囲まれた数字は、２進数とする。

４　記述子タグの値は、高度有線分配システム記述子を示す0xF4とする。

５　記述子長は、これより後に続くデータバイト数を書き込む領域とする。

６　記述子タグ拡張の値は、地震動警報情報伝送を示す0x01とする。

７　地震動警報情報は地上波デジタル放送の地震動警報情報を送るための領域とし、地上波デジタル放送の再放送で地震動警報情報を伝送するためのＡＣ信号を併せて送らない場合は全ビットを‘１’とする。

８　Reserved_for_future_useは、将来使用のためのリザーブとする。受信機動作等を表すための500ビットが伝送される。未使用の場合は、全ビットを‘１’とする。